

水稻用初・中期一発処理除草剤

田植同時
散布が
可能!!

忍^{シノビ}
フロアブル[®]

無人航空機
による滴下が
可能!

忍法 除草の術

- 其の一 SU抵抗性雑草やノビエ、
多年生カヤツリグサ科雑草まで幅広く効く。
- 其の二 移植直後からノビエ2.5葉期まで幅広く使える。
- 其の三 省力的な田植同時散布が可能。
- 其の四 直播水稻にも使用可能。



■主な適用雑草

※適用作物(移植水稻・直播水稻)によって適用のある草種が異なる場合があるので、詳細は適用内容をご確認ください。



ホタルイ



コナギ



アゼナ



ミズガヤツリ



オモダカ



クログワイ



ミズアオイ



ウリカワ



ヘラオモダカ



アオミドロ



ノビエ



コウキヤガラ



水稲用初・中期一発処理除草剤 フロアブル

有効成分
イマズスルフロン……………1.8%
ピラクロニル……………3.9%
ベンゾピシクロン……………3.9%

- 其の一 ★ SU抵抗性雑草やノビエ、多年生カヤツリグサ科雑草まで幅広く効く。
- 其の二 ★ 移植直後からノビエ2.5葉期まで幅広く使える。
- 其の三 ★ 省力的な田植同時散布が可能。
- 其の四 ★ 直播水稲にも使用可能。

**田植同時
散布が可能!!**

適用と使用方法

2020年10月現在の登録内容

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	本剤の使用回数	使用方法
移植水稲	一年生雑草 及び 多年生広葉雑草 エゾノサヤヌカグサ アオミドロ・藻類による表層はく離	移 植 時	500mℓ /10a	1回	田植同時散布機で 施用
		移植直後～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで			原液湛水散布、 水口施用又は 無人航空機による 滴下
直播水稲	一年生雑草 及び マツバイ、ホタルイ ヘラオモダカ、ウリカワ ミズガヤツリ、ヒルムシロ、セリ アオミドロ・藻類による表層はく離	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			

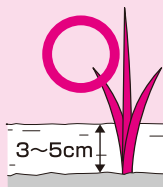
主要雑草に対する使用適期

ホタルイ ウリカワ ミズガヤツリ ヘラオモダカ エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈3cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
セ リ	再生前から 再生始期まで
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで
アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生前まで

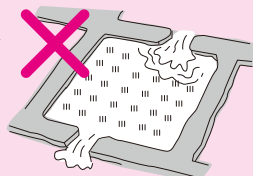
■イマズスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内 ■ベンゾピシクロンを含む農薬の総使用回数：3回以内

上手な使い方 散布量／10a当り500mℓ(1本)

散布の際は、水の出入りを止めて
湛水状態（水深3～5cm）で
散布してください。また、極端な浅水や
深水での使用はさけてください。



散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、
田面を露出させないようにし、
散布後7日間は、落水、
かけ流しはしないでください。
また、入水は静かに行ってください。



使用上の注意事項

- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもまでは十分な効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用をさけてください。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を水口に施用し、流入水と共に水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態（水深3～5cm）に達したときに必ず水を止め田面水があふれ出ないように注意してください。
- 本剤を無人航空機で滴下する場合は次の注意を守ってください。
 - ①滴下は使用機種の使用基準に従って実施してください。
 - ②滴下に当っては散布装置のノズルを使用しないでください。
 - ③作業中、薬液が漏れないように装置の十分な点検を行ってください。
 - ④隣接する圃場に水稲以外の作物が栽培されている場合は無人航空機による本剤の滴下は行わないでください。
 - ⑤水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないよう十分留意してください。
 - ⑥薬剤滴下に使用した装置は十分洗浄し、薬剤タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。
 - ⑦本剤の滴下に使用した無人航空機の散布装置は、水稲以外の作物への薬剤散布には使用しないでください。
- 使用後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、使用後7日間は、落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業をていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 直播水稲で使用する場合、稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 以下のような条件下では薬害が発生するおそれがあるので使用はさけてください。
 - 砂質土壌の水田および漏水の大きな水田（減水深が2cm/日以上）
 - 軟弱な苗を移植した水田 ●極端な浅植えの水田
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさしひかえてください。
- 田植前に生育したミズガヤツリは、完全に防除してから使用してください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- その殺草特性から、いくさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- いくさ栽培予定水田では使用しないでください。
- ① 畜に対して影響があるので、周辺の農薬にはかからないようにしてください。
- 使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。
- 眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン、長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

02R10J20S95:ZS

2020年10月作成（全新企画社）

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCA GROUP

住友化学

〒104-8260 東京都中央区新川2丁目27番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

